

青函トンネル・24年の大工事

24年におよぶ歴史的難工事の末、完成した「青函トンネル」。

最初のパイロット坑である「先進導坑」を掘り抜いたのは、鉄建公団の若き技術者と、トンネル工事のプロ職人74人を中心としたプロジェクトだった。

複雑な地層を掘り進む海底掘削工事は、出水との戦いであった。プロジェクトは、試行錯誤の末、岩盤に細かな注入穴をあけ、高圧で特殊なセメントを流し込み地層を固めて掘り進むという新技術を開発する。

しかし難工事のなかで死亡事故が続発。昭和44年に起こった大規模な出水事故を全員で乗りきったことが、その後の出水対策を飛躍的に進歩させる原動力となる。

そして昭和58年、仲間の遺影が見守るなか、先進導坑貫通の瞬間を迎えた。

青函トンネルに人生を賭けたトンネルマンたちの苦闘と情熱を描く。